

神戸大学国際文化学研究科日本語教師養成サブコース

## 日本語教師養成サブコース 2025年度第1回 ランチョンセミナー ～海外で日本語を教える:OB/OGが語る日本語教師の仕事～

- 日時 2025年4月30日(水) 12:20~13:10
- 会場 F101
- プログラム
  - ・開会あいさつ 石川 慎一郎教授
  - ・履修者ディスカッション1(自己紹介、コース履修について、研究テーマ等)
  - ・第1スピーチ 甲藤 瞳氏(元海外派遣日本語講師)  
「現在につながる大学院時代の学び」
  - ・第2スピーチ 大塚 真理子氏(元 JICA 日本語教育隊員)  
「ブラジルでの JICA 日本語教育隊員としての活動の背景と実際」
  - ・履修者ディスカッション2(海外日本語教師について、キャリアパスについて)
  - ・閉会あいさつ 川上 尚恵准教授

甲藤瞳氏略歴	大塚真理子氏略歴
<p>2017年に国際文化学研究科を修了。2024年まで国際交流基金やJICAの派遣でラオスの日本語教育に携わる。主な仕事は高校生、大学生、社会人を対象とした授業の実施や教員のブラッシュアップ等。現在は日本国内の留学生や就労者を対象に日本語の授業を行っている。幼少期から「異文化・言語・教育」に関心があり、日本語教師に。修士論文の題目は「混住寮における留学生・日本人学生間の交流の現状と課題に関する事例研究」。</p> 	<p>嘱託非常勤兵庫県教育委員会子ども多文化共生サポーターに勤務する傍ら、神戸大学国際文化学研究科文化相関・地域文化系ヨーロッパ・アメリカ文化論コースに入学、2020年度、博士課程前期課程修了。前期課程修了研究レポート題目は「デカセギ2世ペルー人青年のアイデンティティ」。2023年1月、国際協力機構 JICA の日系社会海外協力隊員としてブラジルサンパウロ州ツパン市ツパン文化体育協会の日本語学校で日本語教育隊員として活動。2025年1月末に帰国。</p> 

- 参加資格 現在、日本語教師養成サブコースを履修中の学生に限る
- 申し込み **2025年4月18日(金)までに**、下記サイトより申し込み  
<https://forms.gle/XKajAPCfMz5s2piK8>
- 昼食時間帯のイベントになるため、軽食が提供されます。また、当日出席者には、日本語教員試験対策用の教材が配布される予定です。
- 問い合わせ先 石川慎一郎教授 [iskwshin@kobe-u.ac.jp](mailto:iskwshin@kobe-u.ac.jp)



※本セミナーは国際文化学研究科教育研究プロジェクト「日本語教師養成サブコース高度化プロジェクト」の支援のもと、日本語教師養成サブコース運営委員会が企画・実施しています。